

今月の健康

アレルギーの話

アレルギーの病気の代表といえば、ぜんそくと同じまんんでしよう。春はアレルギー病がふえると言いますががとくに皮膚、眼、耳鼻の病気に多いようです。

ところでアレルギーといふことは、すでにじみ深いのですが、その意味をよく理解されない方が多いので簡単に説明してみます。つまり反応がとくに皮膚、眼、耳鼻の病気に多いようです。

カゼのビールスで熱が出たり頭が痛むのも、一種の反応です。この反応のしかたがある時期からおかしくなるのがアレルギーです。

たとえば、あつうなら食物と受け入れられるサバや卵が、まるで病気のものとなってしまうのです。

太体はこの反応のことばの意味は、「体の

△アレルギーとは

反応のしかたが変る」といふことです。私達の体には、外からの刺激や侵入に対して抵抗して、防衛体制を整えようとする自然の性質があります。つまり反応を示すわけです。

つまりアレルギーには反応を起すあと、反応させる何かが存在するわけで、そのものとなるものをアレルゲンと言っています。

アレルゲンとして考えられるものには、特定の食物・薬剤・部屋のチリ・カビ・花粉・織・香料・鳥獣の毛・タバコ・スマシング・気象条件などがあります。しかしもその外興奮・緊張・疲労などの原因ともなっています。

アレルゲンがあればそれを除

しかが敏感になり過ぎるので、アレルギーを過敏反応ということもあります。

△反応をおこすもの（アレルゲン）

つまりアレルギーには反応を起すあと、反応させる何かが存在するわけで、そのものとなるものをアレルゲンと言っています。

アレルゲンとして考えら

れる最近の問題ですが、最近はアレルゲンを追求するところが、根本治療の第一段階です。もし生活の中にアレルゲンがあればそれを除

くか、逆に慣れるようにす

るわけです。

最近病院などには、アレルギー外来（新潟大学ほか）を置いていますから、そ

うした専門の所を利用する

のが早道です。

△どうしてなおす

頑固につづくもの、反復

するものが問題ですが、最

近はアレルゲンを追求する

ことを置いていますから、そ

うした専門の所を利用する

のが早道です。

△どうしてなおす

るわけです。

最近病院などには、アレ

ルギー外来（新潟大学ほか）を置いていますから、そ

うした専門の所を利用する

のが早道です。

△どうしてなおす